

## 田んぼの雑草コーナー



私が気に入っているのはこの花、たぶん「アカバナユウゲショウ」という名前だと思います。特に害はないようなので、この草は見つけてもかりとりません。

ミズガヤツリ。これが一番やっかい。なにしろ、右の写真で見えているのは、みんな兄弟。一本生えると足下から水中のくきを伸ばし、新たに根をはり2本目3本目…と増えていくのです。また、穂を出さないと稲とそっくりなので、なかなか見つけられない。さらに、上の方を引っ張ってぬこうとすると、穂の部分だけがキュッとぬけてしまうので、取り切れない。なんともにくらしいやつです。



ワルナスビ。こんなにかわいい花をさかせるのになんてひどい名前を付けるんでしょう。毎年見かけるので、いつもいやされていたのですが、実はあくまのような草らしいのです。何しろ、「かわいいね」とくきや葉をさわると、とげがいっぱい生えていて痛い目にあうのだとか…。しかも一度生えると、もうやっつけることが不可能なほど、かりとっても、ぬきとっても土の中に

体の一部が残っていれば、生き返ってしまうのだとか。

ほかにも、去年紹介した「クサネム」もいっぱい生えていて、見つけ次第ぬいていますが、減らない。困った…。

※草の名前は、私なりに一生懸命調べたつもりですが、もし間違っていたら教えてください。